

## 令和4年度兵庫県青少年赤十字研究会を開催しました

兵庫県支部では、青少年赤十字活動の充実・活性化とともに、未加盟校への啓発を図ることを目的に、青少年赤十字研究推進校を設けています。県内の加盟校に募集し、研究推進校として指定された学校は、防災や奉仕活動などの研究主題の中からテーマを決め、1年を通して実践しています。令和4年度は4校を指定し、1月29日(日)に開催した兵庫県青少年赤十字研究会でその成果を発表いただきました。

令和4年度研究推進校	テーマ
芦屋市立精道小学校	阪神淡路大震災を語り継ぐ
丹波篠山市立城南小学校	「気づき・考え・実行する ～主体的に判断し、行動する児童をめざして～」
兵庫県立柏原高等学校	①防災教育の推進 ②丹波地域在住外国人・韓国との交流の推進 ③丹波市・柏原町の観光促進
神戸弘陵学園高等学校	震災資料を基にした防災学習の基礎構築について

6年生が5年生に語り継ぐ



▲精道小学校発表スライドより

現在、「令和5年度青少年赤十字研究推進校」の公募を行っておりますので、是非ご応募ください。  
※切:令和5年4月末日(詳しくは兵庫県支部ホームページをご覧ください。)

## 令和4年度兵庫県中学校高等学校青少年赤十字協議会例会(第3学期)を開催しました

2月5日(日)、兵庫県支部にて令和4年度兵庫県中学校高等学校青少年赤十字協議会例会(第3学期)を開催し、加盟校から20名が参加しました。午前中は、神戸ユニバーサルツーリズムセンターから講師を招き、「ユニバーサルツーリズム\*がなぜ必要なのか?」と題して講演いただき、その後、車いすを使用して、横断歩道やスロープ、駅、ショッピングセンターなど兵庫県支部周辺のバリアフリー状況の調査を行いました。午後からは、調査した内容を基に車いすの危険箇所など、撮影した写真を活用してパワーポイントにまとめ、各グループから発表しました。最後に講師から講評をいただき、参加者が多くの気づきと学びを得る有意義な時間となりました。参加者からは、「バリアフリーの重要性を改めて感じた」「車いすの人が安心して外出できる社会になってほしい」といった感想がありました。

※ユニバーサルツーリズムとは、年齢や国籍、障がいの有無を問わず全ての人が安心して楽しめる旅行をめざすツーリズムの考えかたです。



## 3月21日、三宮センタープラザ献血ルームが移転し、生まれ変わります。

現在は三宮のセンタープラザ西館3階に開所していますが、阪急神戸三宮駅西口にほど近い、センタープラザ2階に移転いたします。その名も「三宮センタープラザminamo献血ルーム」神戸の海のイメージからとった「minamo」(みなも=水面)と、幅広い年代層に憩い・親しんでいただけるような「みんなも」訪れやすい献血ルームになってほしいという思いが込められています。3月21日より三宮センタープラザminamo献血ルームにて、皆様のお越しを職員一同お待ちしております。 ※現 三宮センタープラザ献血ルームは、3月15日をもって閉所いたします。



**オープン日** 2023年3月21日(火・祝)

**移転予定地** センタープラザ2階(神戸市中央区三宮町1-9-1)

**受付時間** 全血献血 9:45~12:30/13:30~17:30 成分献血 10:00~12:30/13:30~17:00



### 講習会のご案内

救急法基礎講習(1日の講習)	4月29日(土・祝) 13:00~17:30 会場:日本赤十字社兵庫県支部7階 5月27日(土) 10:30~16:00 会場:日本赤十字社兵庫県支部災害救護支援センター(三木市)
救急法救急員養成講習(2日間の講習)	5月20日(土)・21日(日) 9:30~17:30 会場:日本赤十字社兵庫県支部7階
救急法基礎・救急員養成講習(3日間の講習)	5月3日(水・祝)・4日(木・祝)・5日(金・祝) 9:30~17:30(初日は13:00~17:30) 会場:日本赤十字社兵庫県支部7階
水上安全法救助員I養成講習(4日間の講習)	4月30日(日) 基礎9:00~14:30 養成15:00~17:00 5月13日(土)・14日(日)・20日(土) 9:00~17:00(最終日は9:00~14:00) 場所:1日目 日本赤十字社兵庫県支部 2日目~4日目 ポートアイランドスポーツセンター
幼児安全法支援員養成講習(2日間の講習)	5月13日(土)・14日(日) 9:30~17:00 会場:日本赤十字社兵庫県支部7階
健康生活支援講習支援員養成講習(2日間の講習)	4月15日(土)・16日(日) 9:30~17:10(初日は9:30~16:30) 会場:日本赤十字社兵庫県支部7階

※申込期日は開催日(初日)の1か月前までです。

講習についての最新情報は、ホームページにて随時発信しています。ホームページにてご確認いただくかお電話にてお問い合わせください。

講習に関するお問い合わせ

Tel.078-241-1499

ホームページ(講習のページ)

<https://www.hyogo.jrc.or.jp/lecture/>

※隔月(奇数月)に発行しています。



〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目4番5号 TEL.078-241-9889 FAX.078-241-6990

赤十字 兵庫 検索 <https://www.hyogo.jrc.or.jp/>

ひょうごの赤十字 3月号 [2023年3月1日発行]

ひょうごの  
赤十字+

2023

3

いのちと健康を守る活動にご協力感謝いたします。

■ ホームページ  
<https://www.hyogo.jrc.or.jp/>  
■ インスタグラム  
[https://www.instagram.com/nisseki\\_hyogo/](https://www.instagram.com/nisseki_hyogo/)  
■ Facebook  
<https://www.facebook.com/nisseki.hyogo/>



- NHK海外たすけあいキャンペーンのご報告
- 1.17ひょうご安全の日のつどいに参加しました
- 令和4年度兵庫県警総合災害警備訓練に参加しました
- 防災ボランティア実践研修会を開催 • 第2回評議員会を開催
- 青少年赤十字研究会/青少年赤十字協議会例会(第3学期)を開催
- 献血ルーム移転のお知らせ



## 「NHK海外たすけあい」へのご協力ありがとうございました!

12月1日から25日まで「NHK海外たすけあい」キャンペーンを実施しました。第40回目となる今回は、「誰も取り残さない。紛争からも飢餓からも。」をテーマにキャンペーンを展開し、兵庫県赤十字奉仕団や兵庫県日赤有功会の皆さまをはじめ、NHK神戸放送局窓口や郵便局などからもたくさんのご協力いただきました。12月26日には、兵庫県赤十字奉仕団が集めた募金が友藤富士子委員長より齋藤支部長へ手渡され、齋藤支部長からは感謝状が贈呈されました。ご協力いただいた募金は、日本赤十字社が支援している国際活動に使わせていただきます。

### 〈ご協力いただいた募金のご報告〉

兵庫県赤十字奉仕団	890,000円
兵庫県日赤有功会	4,074,245円
特別赤十字奉仕団	257,100円
青少年赤十字加盟校	73,324円
地区区分、その他	236,361円
NHK神戸放送局	202,897円
兵庫県支部・施設	453,726円
合計	6,187,653円

日本赤十字社は2018年4月より、パレスチナ難民やその他の脆弱な地域住民に対する医療サービスの質向上を目的として「パレスチナ赤新月社医療支援事業」を実施しています。2022年4月から9か月間、姫路赤十字病院の津田看護師が、パレスチナ赤新月社が運営するレバノンのサファド病院へ派遣されました。津田看護師は、救急外来におけるトリアージやカルテの導入、院内の感染管理など、医療の質を上げるためのプロジェクトに携わり、委員会の立ち上げとその定着にも尽力しました。今回が8回目の海外派遣となった津田看護師は、「当初は委員会がなかなか開催されず、開催されても日赤からの呼びかけに応じただけという感じだったのが、私の現地活動終了前、そして次の日赤要員に引き継ぐ頃には自発的に開催されるようになり、『日赤が支援に来てくれたから私たちもできるようになった』と言われたことが何よりも嬉しかったです。現地のスタッフや難民の患者さんにこちらが勇気づけられることも多く、国際救援活動を通じて広い視野を持つことができるようになったと感じています。」と話しました。この第二期日本赤十字社・パレスチナ赤新月社医療支援事業は2025年3月まで継続されます。皆さまのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



### トルコ・シリア地震の海外救援金を募集しています

2023年2月6日(月)現地時間午前4時17分、トルコ南東部のシリアとの国境付近を震源とする地震とその余震により、トルコ南東部及びシリア北西部において1,700以上のビルが倒壊し、多数の死傷者が報告されています。こうした事態に対し、日本赤十字社は救援金の受付を開始いたしました。



被災地で捜索・救助活動を行うシリア赤新月社スタッフ ©SARC/日本赤十字社

ご寄付いただいた救援金は、国際赤十字・赤新月社連盟の緊急救援アピール等に対する資金援助、トルコ赤新月社並びにシリア赤新月社による救援活動・復興支援、日本赤十字社による救援・復興支援等に使われます。詳しくはHP等をご確認ください。[https://www.jrc.or.jp/press/2023/0208\\_030652.html](https://www.jrc.or.jp/press/2023/0208_030652.html) 皆さまの温かいご支援をよろしくお願いいたします。

## ～阪神・淡路大震災から28年～1.17ひょうご安全の日のつどいに参加

1月17日、神戸市中央区のHAT神戸他で「ひょうご安全の日のつどい」が開催されました。令和元年より新型コロナウイルス感染症の影響で式典のみが開催されていましたが、3年ぶりに防災訓練やイベントなども実施されました。兵庫県支部は、なぎさ公園にdERUテントを設営し、なぎさ中学校1年生を対象に救急法講習を実施しました。胸骨圧迫がうまくできずに苦労している生徒もいましたが、救急法指導員からアドバイスを受け、一生懸命取り組んでいる様子が見られました。阪神・淡路大震災から28年目を迎えましたが、これからも「震災を風化させない」「忘れない」「伝える」「活かす」「備える」ことを意識し、防災・減災に取り組んでまいります。



## 令和4年度兵庫県警察総合災害警備訓練

1月24日、兵庫県広域防災センターで兵庫県警察総合災害警備訓練が実施され、兵庫県支部も参加しました。この訓練は、大規模災害の発生時において、警察各部隊の災害対処能力の向上と防災関係機関との連携強化を図るため、平成28年度から実施されています。今回の訓練は、山崎断層帯を震源としたマグニチュード8.0の地震が発生し、北播磨・但馬地方を中心に家屋の倒壊、道路の寸断等が発生し、多数傷病者が発生しているという想定で行われました。姫路赤十字病院、多可赤十字病院、兵庫県災害医療センターの救護班が参集し、倒壊家屋から救助された傷病者をトリアージポストにて受入れ、救護所で処置等を行い、搬送先を選定するなど、警察・消防など他機関との連携を確認しながら救護活動を進めました。

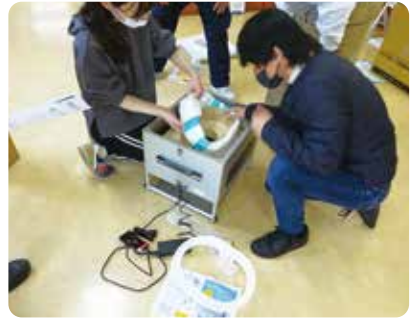


いのちと健康を守る赤十字活動は  
皆さまからお寄せいただく活動資金で成り立っています。  
活動資金にご協力をお願いします

郵便局・ゆうちょ銀行からご協力いただけます  
口座記号番号:01110-0-1136  
口座加入者名:日本赤十字社兵庫県支部  
※窓口で取扱いの場合、振込手数料は無料です。

## 赤十字防災ボランティア実践研修会を開催しました

2月12日、日本赤十字社兵庫県支部災害救護支援センター(三木市)において「令和4年度第2回赤十字防災ボランティア実践研修会」を開催し、特別赤十字奉仕団員や個人登録の赤十字防災ボランティア16名が参加しました。午前は三木総合防災公園備蓄倉庫の見学、午後は炊き出し用の大釜の取り扱い方法と自動ラップ式トイレの設置研修を行いました。参加者からは「ガスボンベとホースの接続、ガスバーナーへの点火から消火まで一連の流れを再確認することができた。」「自動ラップ式トイレは、排泄物が自動で密封処理されるので感染防止対策に有効。」といった感想がありました。今回は、令和元年以来、久しぶりの実地研修でグループ間の連携に時間がかかることもありましたが、各々が持っている知識や技術を教え合う場面もあり、新たな気づきを得る貴重な機会となりました。



## 第2回評議員会を開催しました

2月15日、令和4年度第2回評議員会を開催しました。今回の評議員会は、開会に先立ち昨年末にご逝去された大塚義治名誉社長へ、参加者全員で黙とうを捧げることから始まりました。急遽、公務で欠席となった齋藤支部長に代り、山下副支部長が議長を務め、「武力紛争から1年を迎えたウクライナ人道危機への支援においては、兵庫県支部管内で令和4年12月末現在3,400万円の海外救援金をお寄せいただきました。また、今月6日に発生したトルコ・シリアの大地震では、日本赤十字社は2月9日から海外救援金の募集を開始しています。阪神・淡路大震災を経験した兵庫県でも県、県議会、市長会など地方4団体と当支部を含む民間団体とが協力して『兵庫義援金募集委員会』を設置、2月10日から義援金の募集受付を開始するなど、支援の輪が広がっています。今年度も、皆さまからご協力いただいた活動資金で『いのちと健康を守る』事業を円滑に進めることができました。皆様のご支援のもと、多くの職員がコロナ禍においても感染拡大防止に高い意識をもって医療体制の維持、献血供給量の確保、災害訓練の実施など、日々の業務に励んでおります。これからも皆様のご期待に沿えるよう尽くしてまいりますので、日本赤十字社の活動にご理解とご支援をお願いいたします。」と、挨拶しました。支部事務局長から令和4年度事業進捗報告のあと議事に移り、令和5年度事業計画と歳入歳出予算について審議が行われ、評議員の皆さまに承認されました。



遺言・相続財産・お香典でのご協力について  
「自分が亡くなった後、これまで築いた財産の一部を赤十字に寄付したい」といったご相談や、大切な方を亡くされたご遺族から、「故人の遺産を社会のために役立ててほしい」というお申し出が増えています。日本赤十字社では、このような尊いご意思に応えるために、遺贈(遺言によるご寄付)、相続財産等のご寄付を承っております。  
お問い合わせは ☎0120-078-456(振興課)まで